

# 出張講義

## 公共 経営

## 税を通じて社会・地域参加しよう

担当教員:三好 ゆう 准教授

日本で生活をしている以上、一度も税を支払ったことがない人など、いまや居ません。消費税の存在によって、ほとんどの人が毎日のように納税行為をしていることでしょう。税を納めること自体は身近に感じられるようになったものの、①そもそも何故「税金」が存在するのか、②それが一体「何に」「どれだけ」使われているのかについては、多くの人が理解していない、もしくは関心を持っていないかもしれません。そのため、社会や地域、自分たちの日常生活そのものを、多かれ少なかれ自分たちで支え合っているという重要な事実気が付いていない人が多くいます。この講義では、税の存在意義を考えるとともに、財政構造を概観し、自分たちが税を通じて地域社会に大いに参加しているという重要な事実を確認することを目的としています。納税者であることを自覚することは、社会や地域と自分との関係を見直し、主権者が自分たちであることの責任と誇りを持つことにつながります。こうした自覚は、「働くということ」への意識を高めることにも通じると考えています。

- 受講人数の目安:何人でも可
- 所要時間の目安:40~50分 × 1~2コマ
- 高校でご準備いただきたいもの:特になし